

児童園だより

第十四号

平成二六年一月三一日発行

七五三

「しちごさん、たのしみだな・・・ときどきするよ」

十一月初旬の児童園幼児棟から、こんな声が聞こえてきました。

今年も七五三の季節がやってきました。今回は、三名の四歳児が主役です。

朝から、子どもたちはみんなソワソワ。職員が集まり出すと、これから何が起こるのかと待ち遠しい様子です。子どもたちの保護者が来園すると、今度は嬉しさでいっぱい。ステキな笑顔が咲き誇っています。

お祝い会が始まると、みんなの前で、将来の夢や保育園での目標などを元気いっぱいに発表してくれました。人前で話すことを恥ずかしがっていた子どもたちが大勢の前で話せるようになったことは、職員にとっても保護者にとっても、成長の喜びとして胸を熱くさせました。小さい子たちは「来年はぼく?」「わたしもやりたい」と、今から心待ちにしている様子です。

いよいよ着付けです。今年も、専門店の方々が、ボランティアで衣装を貸してくださいたり、着付けをしてくださったりしてくれました。園の子どもたちの成長は、たくさんの方々に支えられているのだと実感します。子どもたちも、感謝の気持ちを忘れずに大きくなってほしいと願います。

緊張しながらも、凛々しい顔つきで着物に着替えた主役たち。園のみんなにお披露目をしました。「かわいいね」「かっこいい」と声を掛けてもらい、笑顔満点です。みんなにお祝いしてもらってよかったね。もっと、もっと、おおきくなあれ!

